



# スバル フォレスター

## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

## 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。  
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。  
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

# シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



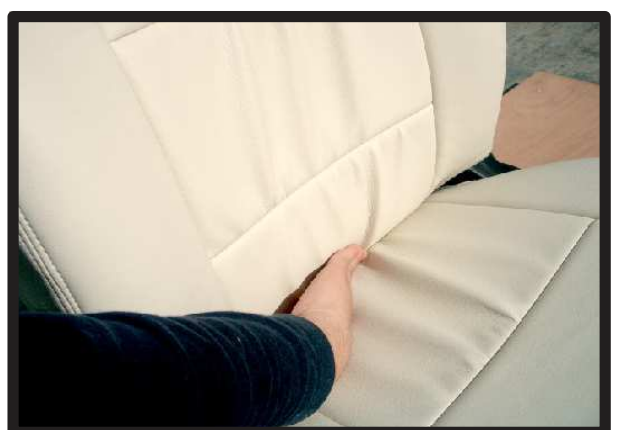
①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。  
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

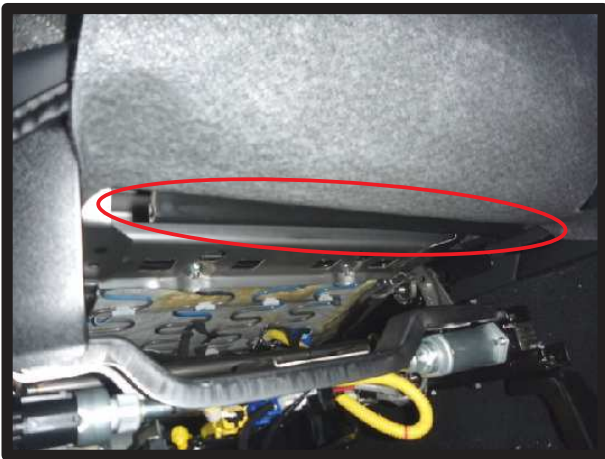
# 1 列目座面



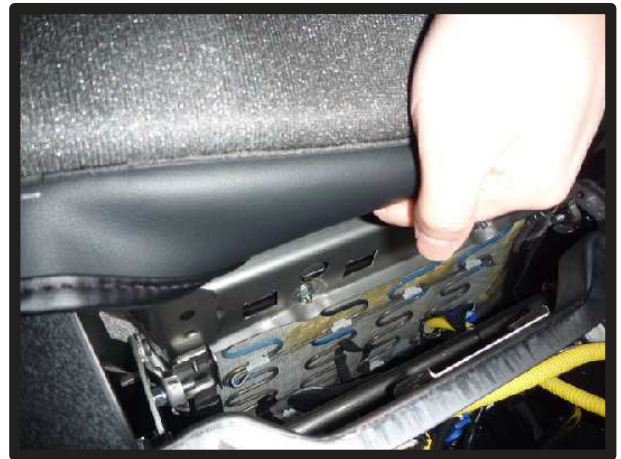
①座面には、図のように前側から底面にかけて生地が付いています。生地は、図の○位置の穴にピンで留められていますので外しておきます。



④カバーの前側には、図のようなプラスチックのフックが付いています。



②外した生地をめくり上げると、図の○位置にシート本体の生地をシートに固定しているプラスチックパーツがあります。



⑤カバーに付いているプラスチックのフックを②のプラスチックパーツの上から固定します。  
※固定方法は巻末のプラフック大の固定を参照して下さい。



③外した生地は図のように2つ折りにした状態で、座面カバーをかぶせます。



⑥正しく固定すると、このようになります。



⑦カバーを固定した前側を支点に、シート全体へかぶせます。



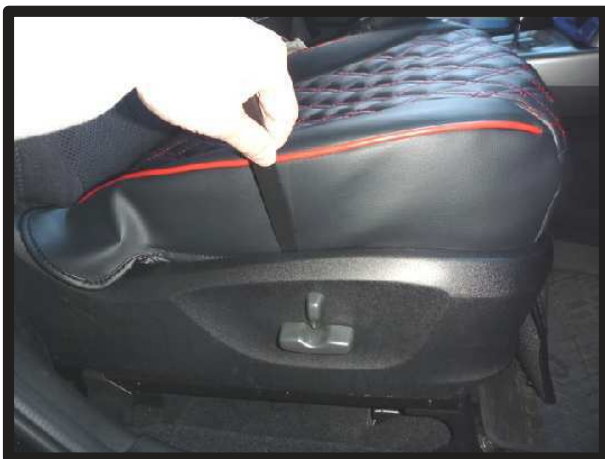
⑩背もたれ付け根付近の生地は、シートを巻き込むように入れ込みます。



⑧背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑪カバー内側面の生地についているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑨カバー外側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑫S字フックを取り付けたゴムは、シートの内側面から底面に引き出し、シート下の金属部分に引っ掛け固定します。

# 1 列目座面



⑬内側面の背もたれ付け根付近の隙間に生地を入れ込みます。



⑭カバー前側の生地に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑮2 ページ⑧で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑯S字フックをシート下の金属部分に引っ掛けると、このようになります。



⑰引き出した生地に付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑱カバーのラインを整え、1 列目運転席側座面の完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。



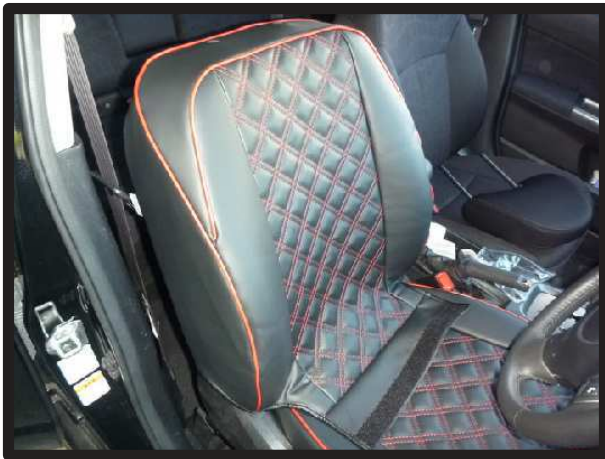
# 1 列目背もたれ



①背もたれにカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。この際、肩口までしっかり入れ込むようにして下さい。



④入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



②カバーを左右均等に引き下げます。



⑤図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、側面のシワを無くしていきます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑦台座を取り出すと、このようになります。



⑩ゴムに付属のS字フックを取り付けます。



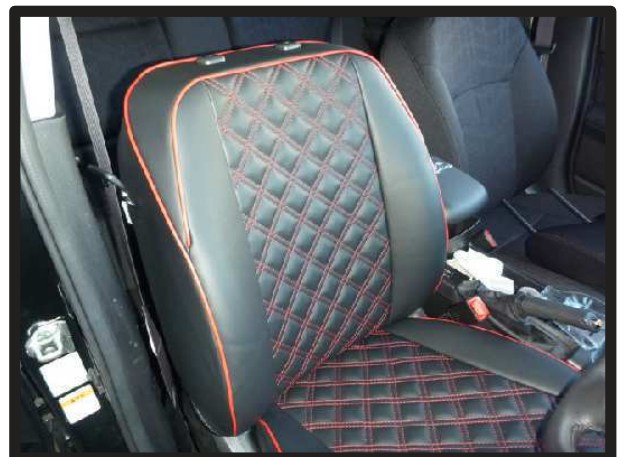
⑧4ページ④で引き出した生地と背面の生地をマジックテープで固定します。



⑪S字フックをシート下の金属部分へ引っ掛け固定します。



⑨カバー背面には、図のようなゴムの付いた生地があります。



⑫カバーのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

## 2列目座面

取付けにはシートを車体から取り外す必要があります



①初めにシート中央のリトラクタブルリヤテーブルを開き、中にあるプラスチックの板をヘラ等を使用し、外します。



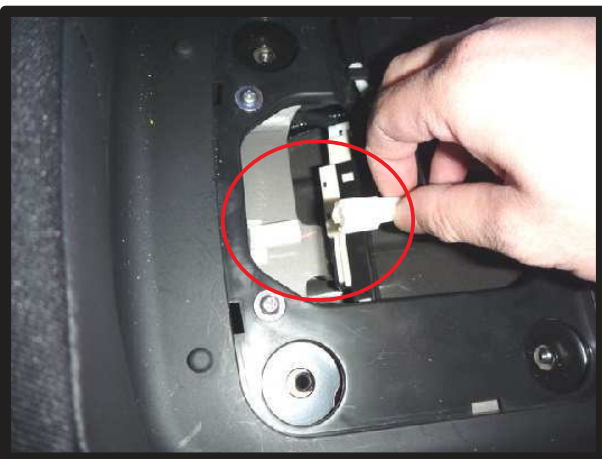
④シートは図の○位置に金具で固定されています。(左右で2ヶ所) シートの端を真上に引き上げるようにすると金具が外れます。



②プラスチックの板を外すと、中にボルトがありますので、ソケットレンチ等を使用し、取り外します。(計4ヶ所)



⑤シートを外す際に、シートベルトのバックルを取り出します。



③中央にあるコネクタを外します。



⑥シートを取り外した状態です。固定金具は、図の○位置の2ヶ所に固定されています。

## 2列目座面

取付けにはシートを車体から取り外す必要があります



⑦外したシートは、車外の広いスペースに移動させます。移動の際は、車体を傷付けないよう注意して下さい。



⑩シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



⑧シートを裏返し、リトラクタブル・リヤテーブルの裏側にある、図の○部のボルトをソケットレンチ等を使用し、取り外します。(計4ヶ所)



⑪シートのチャイルドシート固定用フック位置に付いている生地をめくります。



⑨4本のボルトを外すと、リトラクタブル・リヤテーブルが取り外せます。



⑫生地をめくった位置にある穴に、カバーに付いているベルトを通し、カバーをかぶせます。



⑬7ページ⑫で通したベルトは、かぶせたカバーの加工穴にも通すようにします。



⑯シートベルトバックル部にカバーをかぶせます。



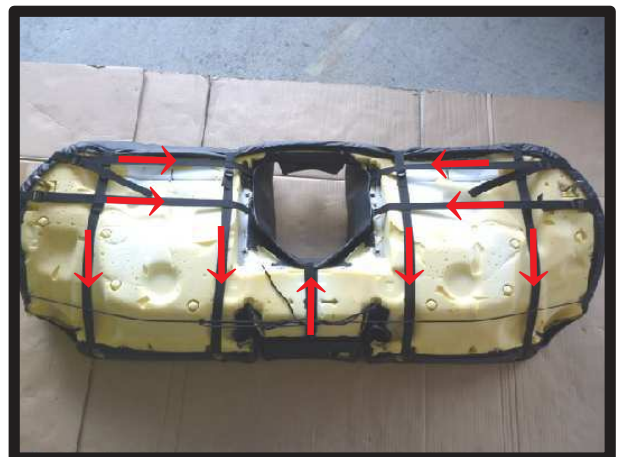
⑭シートベルトバックル部の隙間を埋める為の生地をめくります。



⑰シートベルトバックル部裏側に付いている金具は、カバーの加工穴から取り出します。



⑮めくった生地を、そのまま内側に固定します。  
※カバー装着の際、この生地は使用しません。



⑱カバーの矢印方向に付いているベルト（計9ヶ所）とカバー両端に付いているヒモを固定します。  
※固定方法は巻末のベルトの通し方・ヒモの結び方を参照して下さい。

## 2列目補助席座面

リトラクタブル・リヤテーブルにはS Cのタグの付いたカバーを使用します



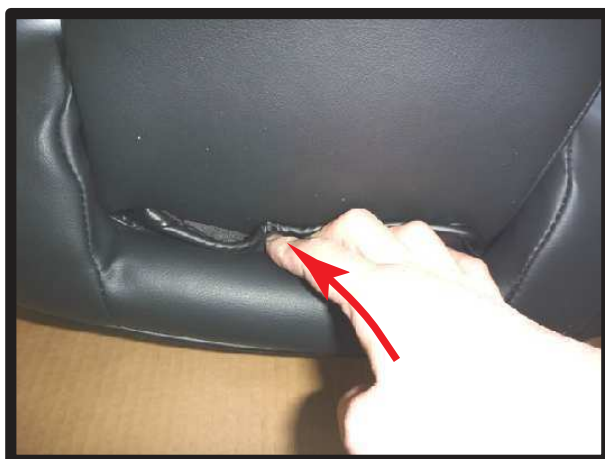
①シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



④取り外した逆の手順で、リトラクタブル・リヤテーブルをシートに戻します。



②テーブルの隙間に、ヘラ等を使用し生地を入れ込みます。



⑤座面カバー前側の生地を隙間に入れ込みます。



③全ての生地を入れ込み、ラインを整え、2列目補助席座面（リトラクタブル・リヤテーブル）の完成です。



⑥カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。

※背もたれカバー装着後に、車体に戻します。

## 2列目背もたれ



①初めに中央席用シートベルトガイドを取り外します。プラスチックのフタはツメで固定されていますので、ヘラ等を使用し取り外します。



②+ドライバーを使用しネジを外すと、シートベルトガイドが取り外せます。



③カバー外側面のファスナーを開き、背もたれにカバーをかぶせます。この際、アームレストはかわすようにして下さい。



④背もたれを引き倒す際に使用するノブをカバーの加工穴から取り出します。



⑤ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



⑥アームレスト収納部のラインに沿って、カバーに付いているマジックテープをシートに直接固定します。



⑦背もたれの間隙から後ろ側へ生地を入れ込みます。



⑩⑦で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑧背もたれを倒した状態で、図のように背面とラゲッジスペースの間隙を覆っている生地を取り外します。生地は図の○位置に、クリップで固定されています。



⑪引き出した生地の一部に切れ込みが入っていますので、図のように背もたれから出ている配線をかかわすようにします。



⑨生地をめくり上げると、シート本体の生地を固定しているプラスチックパーツがありますので、図のように取り外します。

※カバーの固定も同様にしますので、取り付け方を覚えておいて下さい。



⑫引き出した生地には、⑨で取り外したようなプラスチックパーツが付いていますので、取り外した逆の手順でシート本体へ固定します。





⑬正しく生地を固定すると、このようになります。



⑯シート外側面のヒンジのあるプラスチックパーツの隙間に、ヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。



⑭カバー背面の生地は、マジックテープで直接シート背面に固定します。



⑰生地を入れ込むと、このようになります。



⑮カバー側面の生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。



⑱10ページ①②で取り外したシートベルトガイドを元に戻します。



⑱アームレスト下部を覆うようにカバーをかぶせます。



⑳引き出した生地とアームレスト収納部の生地をマジックテープで固定します。



㉑アームレストの隙間に生地を入れ込みます。



㉒カバーのラインを整え、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様に取付けます。



㉓入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。

## 2列目アームレスト



①アームレストにカバーを半分程裏返した状態でかぶせます。カバーにフック状のプラスチックパーツが付いている方が上側になります。



④引き出した生地をプラフックで固定します。  
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照して下さい。



②アームレストのラインに合わせてながら、カバーを引き下げ、図のようにアームレストの隙間に生地を入れ込みます。



⑤正しく固定すると、このようになります。



③入れ込んだ生地を上側から引き出します。



⑥カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。

## 2列目サイドパーツ

SWのタグの付いたカバーを使用します



①始めに背もたれリクライニング用のスイッチを取り外します。隙間にヘラ等を差し込み手前に起こすようにするとスイッチが取り外せます。



②スイッチが外れると、このようになります。スイッチは図の○位置にツメで固定されています。



④サイドパーツを下側から浮かせるようにしながら、固定されているツメを外していきます。



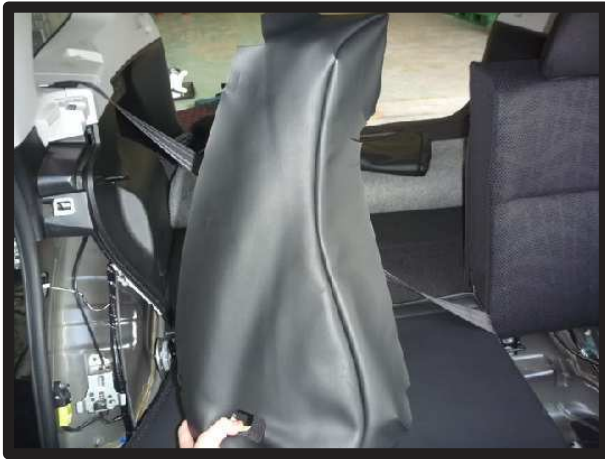
⑤上部の隙間が狭い場所は、ヘラ等を差し込み隙間を広げるとツメが外れやすくなります。



③サイドパーツ下部を固定しているボルトをソケットレンチ等を使用し、取り外します。



⑥固定されているツメを外すと、サイドパーツが取り外せます。



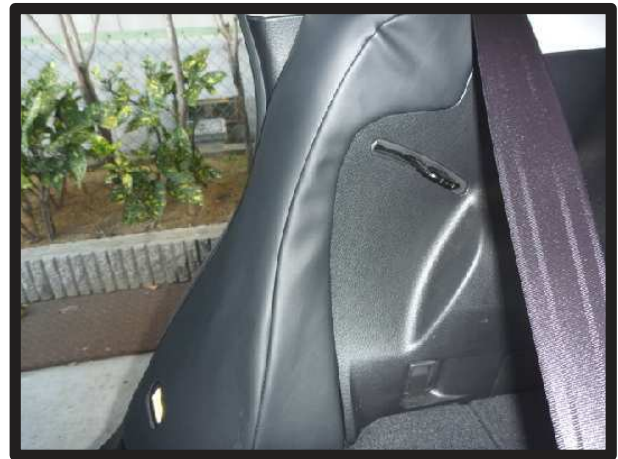
⑦サイドパーツのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



⑩サイドパーツを車体に戻し、はみ出している生地をヘラ等を使用し、車体の隙間に入れ込みます。



⑧サイドパーツの裏側には複数のツメがあり、シート本体の生地を固定しています。カバーにも同じ位置に切り込みが入っていますので、同様にツメに引っ掛け固定します。



⑪正しく生地を入れ込むと、このようになります。



⑨カバーはこのように固定されます。ツメの無い位置の生地は、サイドパーツを戻す際に、車体の隙間に入れ込むようにします。



⑫カバーのラインを整え、15ページ①②で取り外したスイッチを元に戻し、運転席側サイドパーツの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

# ヘッドレスト



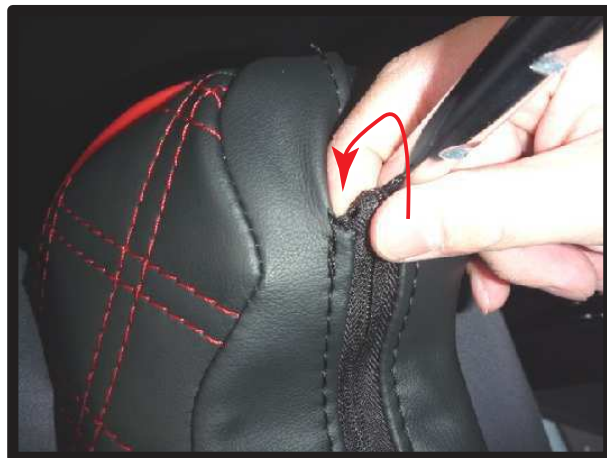
①カバーのファスナーを開き、半分程裏返した状態で1列目ヘッドレストにかぶせます。



④正しくファスナーを閉じると、このようになります。ファスナーは、ヘッドレストの軸の前側（図の上側）を通すようにします。



②ラインを合わせながら、カバーを引き下げます。



⑤ファスナーのはみ出た部分は、図のようにカバーの内側へ入れ込みます。



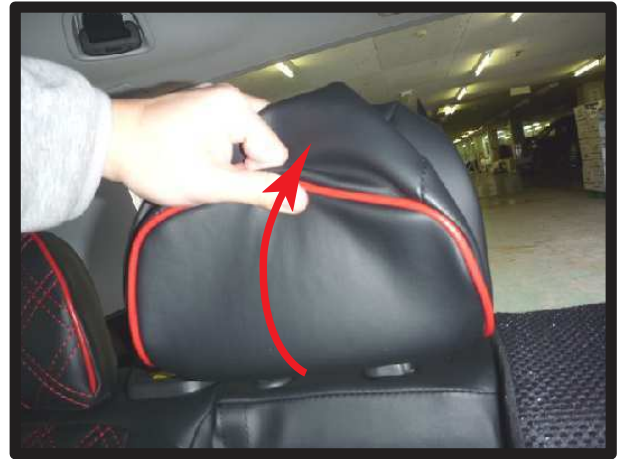
③ヘッドレストを台座から取り外し、底面のファスナーで固定します。ファスナーを閉じる際は、生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



⑥ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



⑦ 2列目両端のヘッドレストは、1列目と同様にカバーをかぶせます。



⑩ 2列目中央ヘッドレストは、カバーを前側に引っ掛けるようにしながらかぶせます。



⑧ ヘッドレストを台座から取り外し、底面のプラフックで固定します。  
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照します。



⑪ ヘッドレストを台座から取り外し、底面のマジックテープを固定した後、プラフックで固定します。  
※固定方法は巻末のプラフックの固定を参照します。



⑨ ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、2列目両端のヘッドレストの完成です。

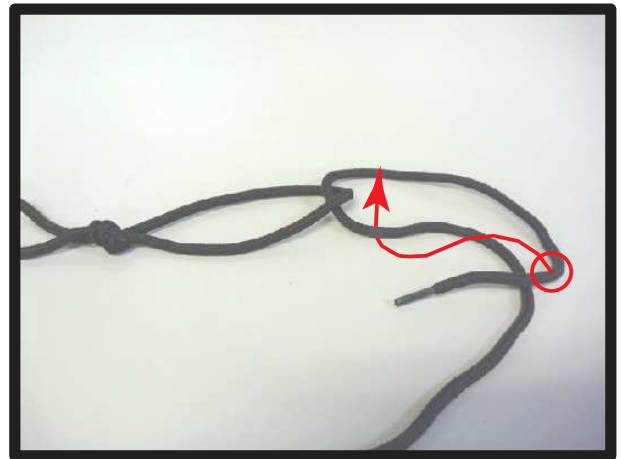


⑫ ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、2列目中央ヘッドレストの完成です。

# ヒモの結び方



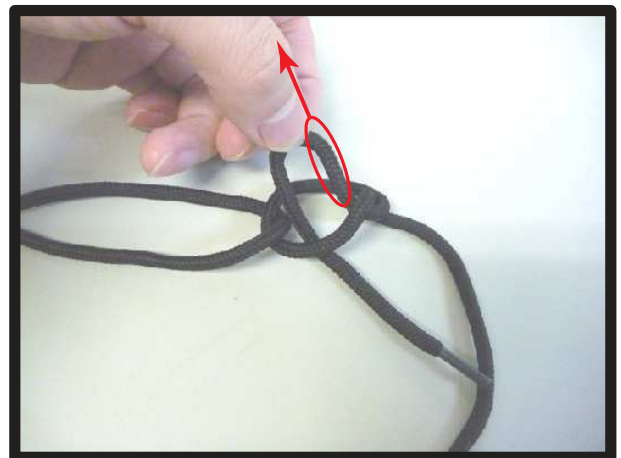
①カバー両側面に付いているヒモの一方で、図のような輪を作ります。



④ヒモの結び方は、引き絞ったヒモを（図の右側）輪のようにし、矢印部分をつまむようにして輪に通します。



②①で作った輪に、もう一方のヒモを通します。



⑤通したヒモの○側を引っ張ると、ヒモが結ばれます。  
※ヒモの先端側を引っ張ると、ヒモは結ばれません。



③通したヒモで、シート下回りを引き絞り、結び留めます。

※ヒモを強く引っ張りすぎると切れる恐れがありますのでご注意ください。



⑥正しくヒモを結び留めると、このようになります。  
この状態でヒモの先端側を引っ張ると、ヒモが簡単にほどける結び方になります。



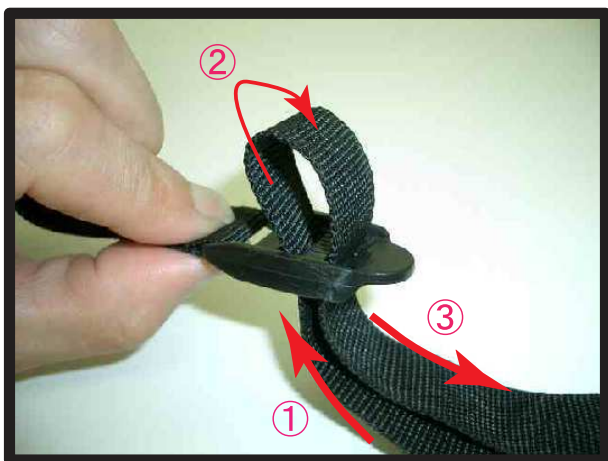
## ベルトの通し方



①カバーに付いているベルトを、バックルが付いている生地側に引き出します。



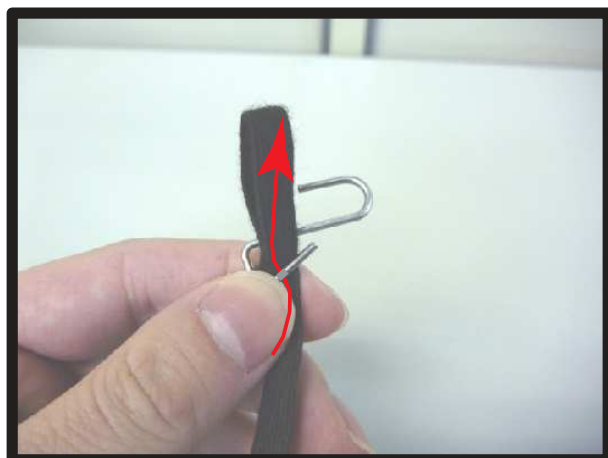
②バックルにベルトを通し、引き絞る事で、カバーが固定されます。



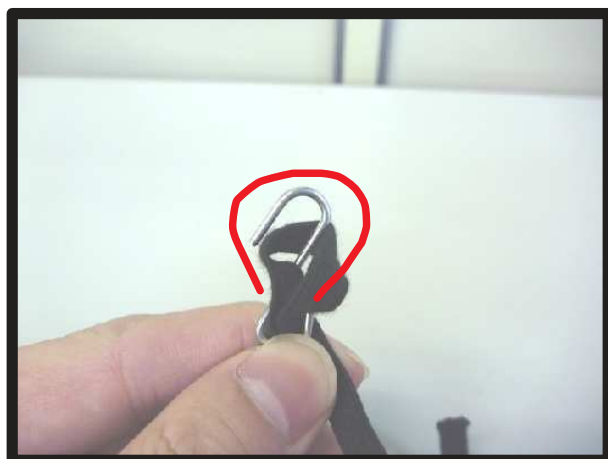
③ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締まり固定されます。

※強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。

## S字フックの取り付け方



①ゴムとS字フックの取り付け方は、始めに図のようにS字フックにゴムを通します。



②通したゴムを、図の赤線のようにしてS字フックにかぶせます。



③かぶせたゴムを引き絞る事で、図のようにS字フックがゴムに固定され、外れにくくなります。

# プラフック大の固定

※背もたれや座面カバー等に付いているカギ状のプラスチックパーツ（プラフック）には、生地を表側に付いているタイプと生地の裏側に付いているタイプの2種類があり、それぞれ固定方法が異なります。



①生地の表側に付いているタイプ



②生地の裏側に付いているタイプ

# プラフック：表側



①図のように生地を表側にプラフックが付いている場合。



②シートの底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されている場所があります。

※例：図の○部

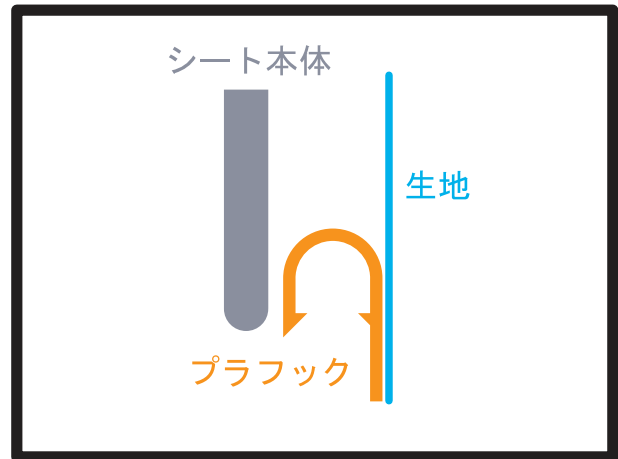


③シート本体の生地を固定しているプラフックの上から、カバーのプラフックを引っ掛けて固定します。

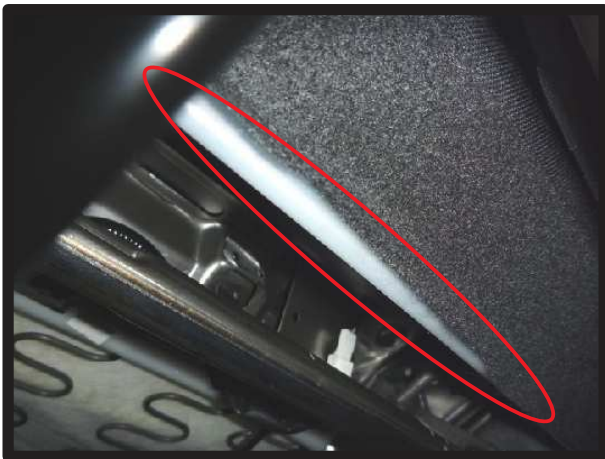
# プラフック：裏側



①図のように生地の裏側にプラフックが付いている場合。

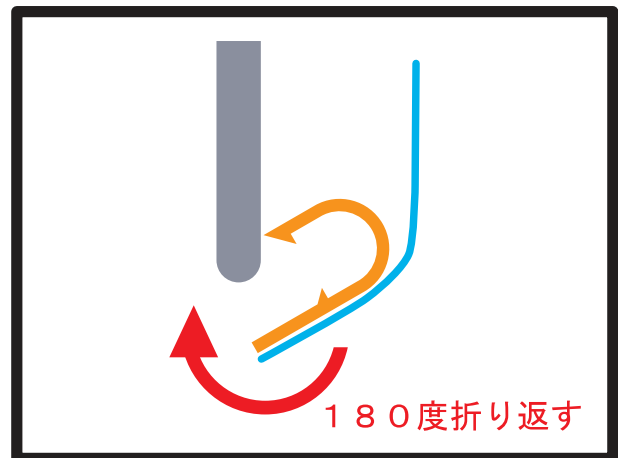


④ここからは、分かりやすいようにイラストで説明します。



②シートの底面を見ると、図のようにシート本体の生地がプラフックで固定されています。

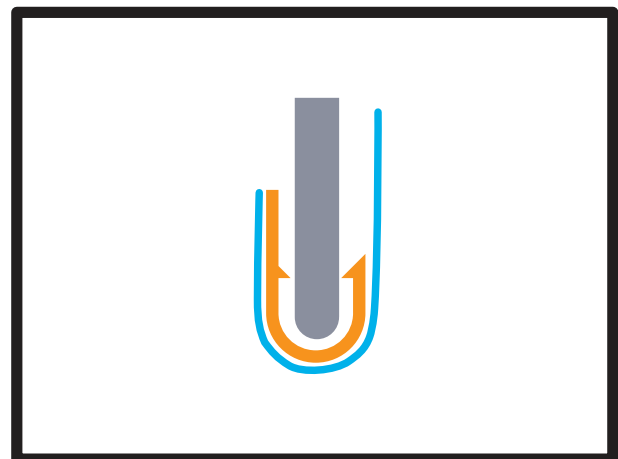
※例：図の○部



⑤プラフックは、生地と共に180度折り返し、シート本体に下から上へ引っ掛けるようにします。



③②で確認したシート本体に固定されているプラフックの上から、カバーのプラフックを固定します。



⑥正しく固定すると、このようになります。

# プラフックの固定

※図は、ヘッドレストを例にしています



①ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラスチックと平らなプラスチックを使用して固定するものがあります。

※例：ヘッドレスト



②プラフックの固定方法は、カギ状のプラスチックに平らな方のプラスチックを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



③間違った固定方法です。平らなプラスチックのみをカギ状のプラスチックに引っ掛けるだけではしっかり固定出来ません。



④正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



⑤間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に、図のように平らなプラスチックの縫製糸が見えてしまいます。



⑥例で使用したヘッドレストの場合はこのようになります。



## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ  
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …→ 生地別メンテナンス方法

### クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

#### アルカンターラ・スエード

##### ● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

##### ● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



#### 本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。  
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。  
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。  
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

##### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまう。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



#### PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。  
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



# Elazzio

## SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)



「快適カーライフ空間創造企業」

**ELEVEN**  
INTERNATIONAL

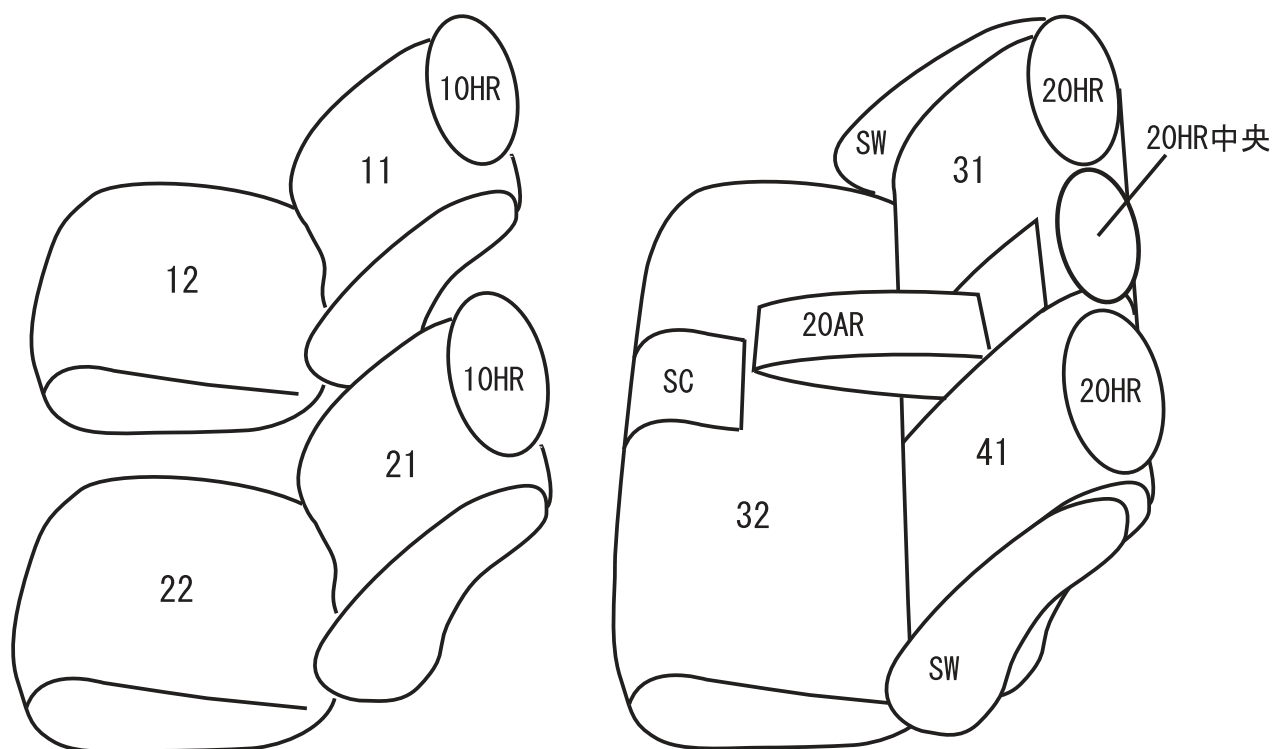
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

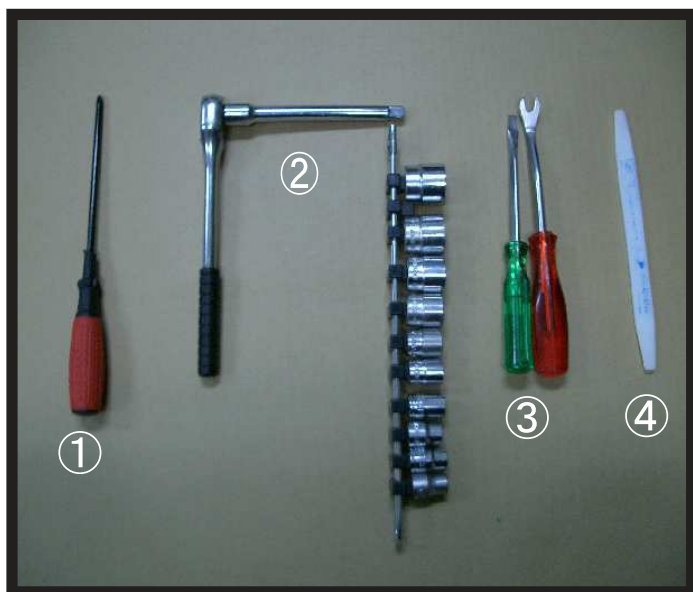
**TEL 072-330-8000**

FAX.072-330-8816

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ -ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

\*この車種では、①と②の工具を使用します。

\*この車種では、③の工具は使用しません。